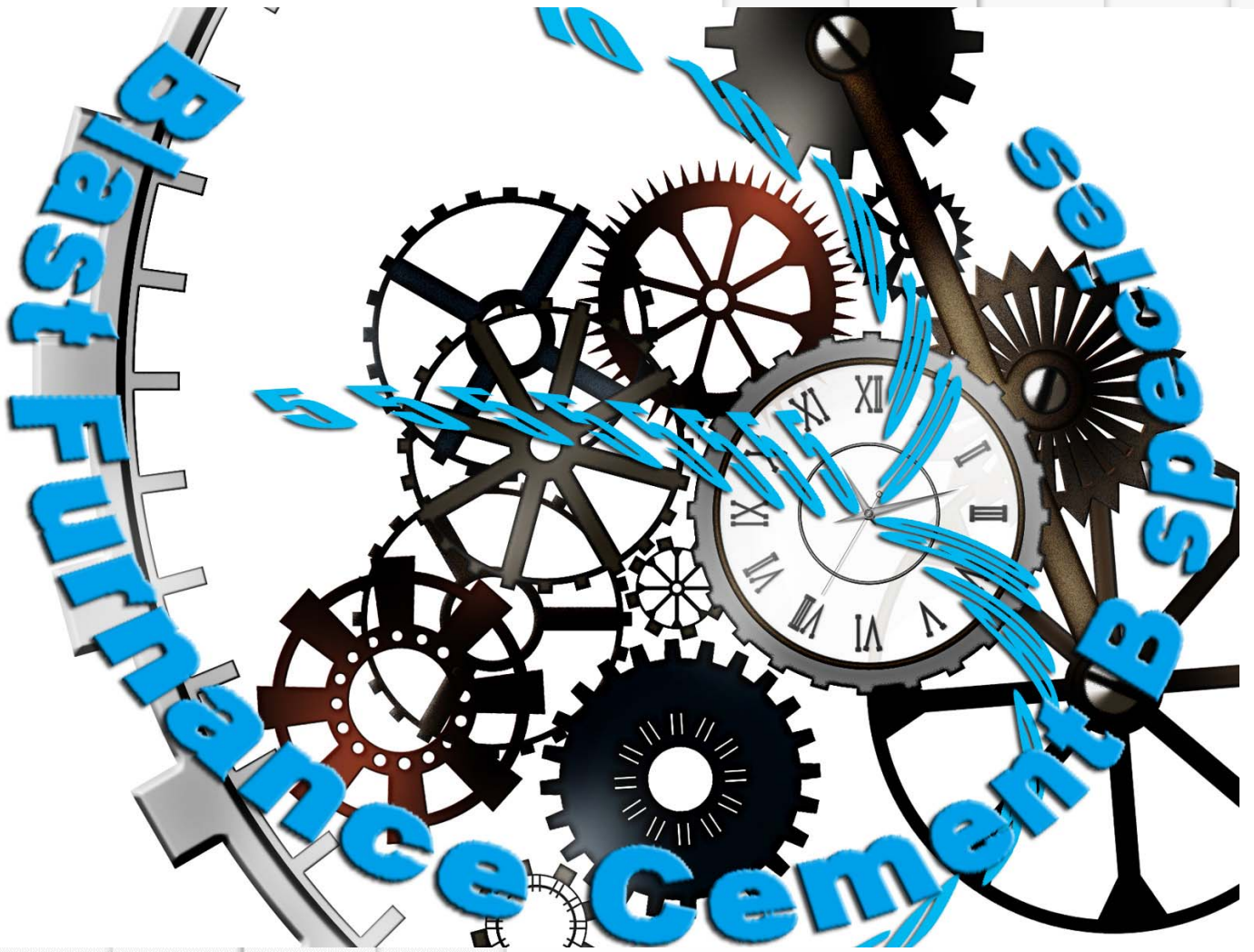


非水ガラス系セメントミルク凝結硬化促進剤

セレクター

SELECTOR<sup>®</sup>



高炉セメントB種



三興コロイド化学株式会社

〒481-0045 愛知県北名古屋市中之郷北109

TEL 0568-21-0012 FAX 0568-23-3553

## 特徴

- 非水ガラス系セメントミルクグラウト剤のため、恒久的強度を必要とする地盤安定強化、湧水防止等に有効です。
- 一般のセメントミルクと比較するとブリージングは殆どありません。
- ゲル化後の初期強度発現は良好です。
- セメント鉱物系組成物ではありませんのでそれ自体水と反応して硬化する事はなく取り扱いが簡単です。
- 硬化剤・促進剤(60Mを除く)は全ての配合において共通で瞬結から長結まで設定可能です。

## 物性

	硬化剤	促進剤	助剤※	調整剤
外 観	白色粉末	白色微粉末	白色微粉末	半透明白色液体
p H	11.0±0.5 (B液濃度)	12.3±0.5 (A液濃度)	11.8±0.5 (A液濃度)	1.8±0.3
真比重	2.7	2.3	2.3	1.046
溶解性	懸濁液	懸濁液	懸濁液	—
臭 気	なし	微臭	なし	微臭

※助剤は60Mのみに使用

## 標準配合

### 瞬結

型番	高炉B使用量 (袋)	硬化剤使用量 (袋)	促進剤使用量 (袋)	ゲルタイム (呼称)
5S	5	1	3	5秒
10S			2	10秒

### 中結

型番	高炉B使用量 (袋)	硬化剤使用量 (袋)	促進剤使用量 (袋)	調整剤 (kg)	ゲルタイム (呼称)
1M	5	1	1	1.0	1分

その他の配合は8ページ SELECTOR 製品構成をご覧ください。

## 荷姿

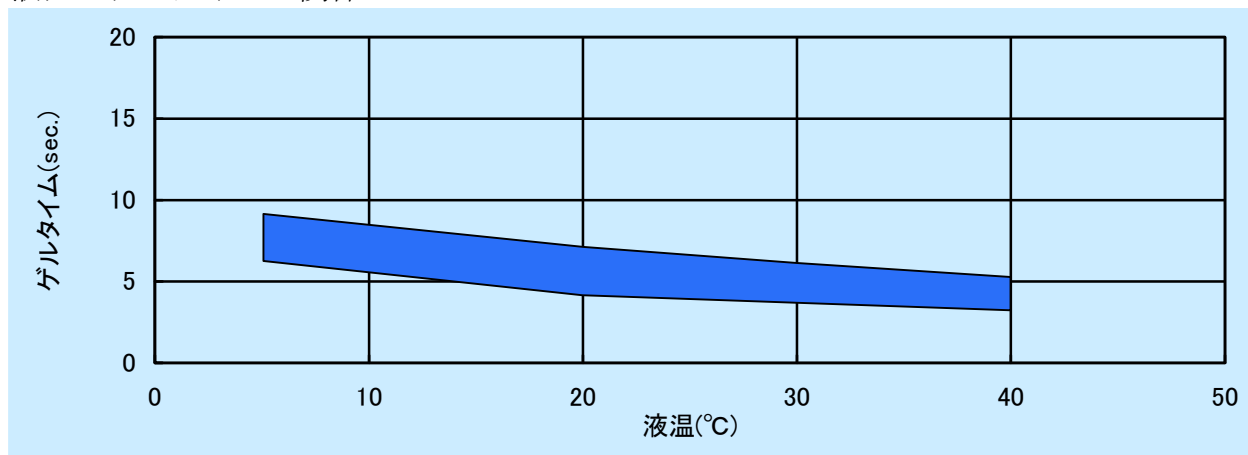
- 硬化剤：16kg ビニール袋入り
- 促進剤：12kg ビニール袋入り
- 助 剤： 5kg 紙袋入り
- 調整剤：18kg ポリ内装段ボール箱入り

### 配合

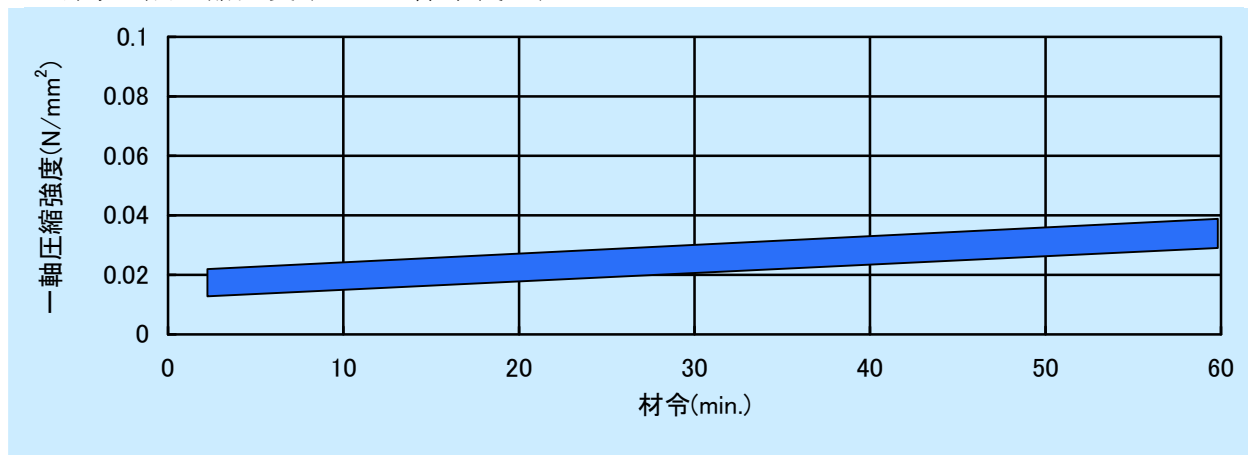
A液 (200ℓ)		B液 (200ℓ)			
高炉B	25kg×5袋	125kg	硬化剤	16kg×1袋	16kg
促進剤	12kg×3袋	36kg	水		
水		143.4ℓ	水		195.5ℓ

B液水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

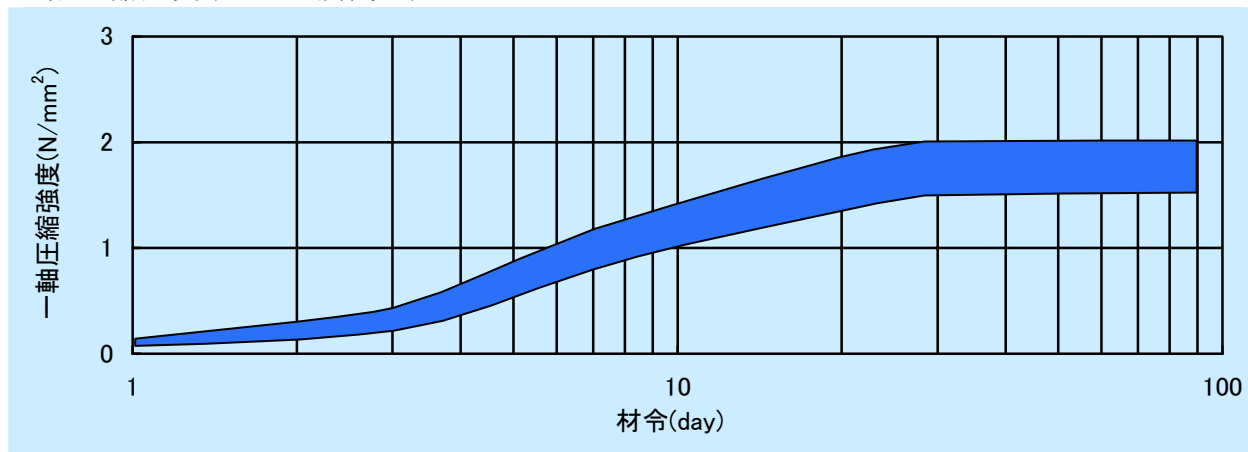
### 液温とゲルタイムの関係



### 短時間一軸圧縮強度 (20°C型枠中養生)



### 一軸圧縮強度 (20°C湿潤養生)



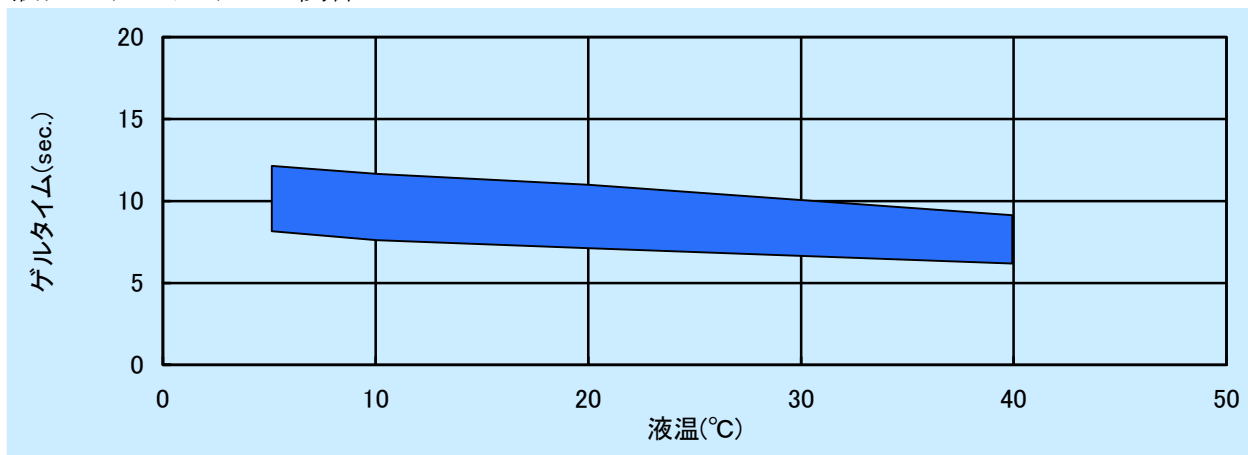
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

## 配合

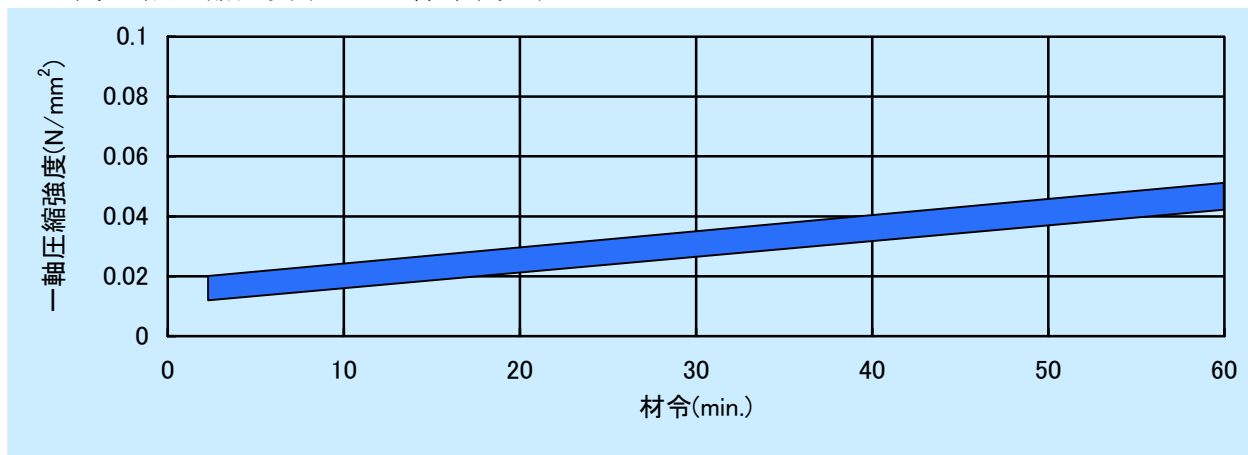
A液 (200ℓ)			B液(200ℓ)		
高炉B	25kg×5袋	125kg	硬化剤	16kg×1袋	16kg
促進剤	12kg×2袋	24kg	水		195.5ℓ
水		148.6ℓ			

B液水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

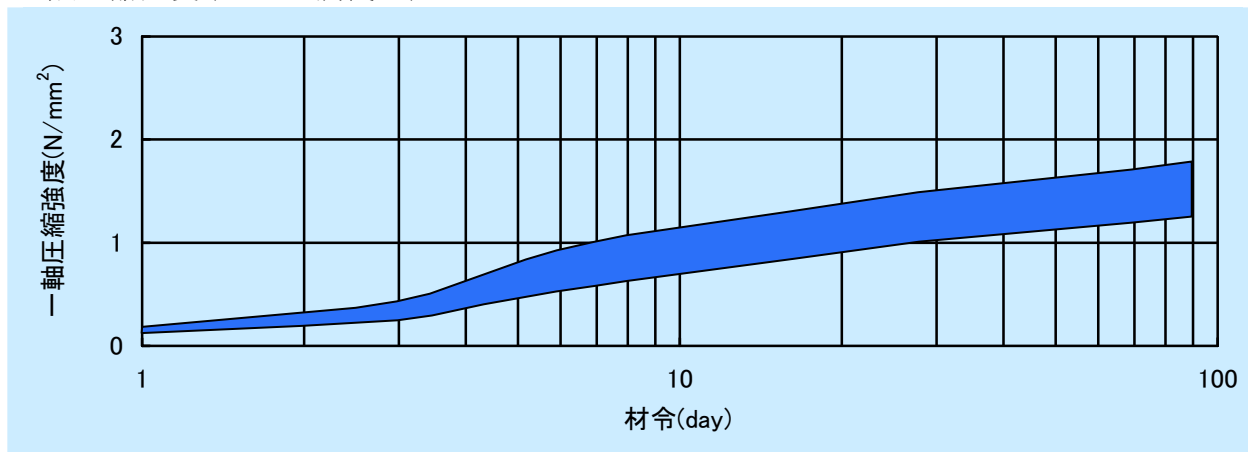
## 液温とゲルタイムの関係



## 短時間一軸圧縮強度(20°C型枠中養生)



## 一軸圧縮強度(20°C湿潤養生)



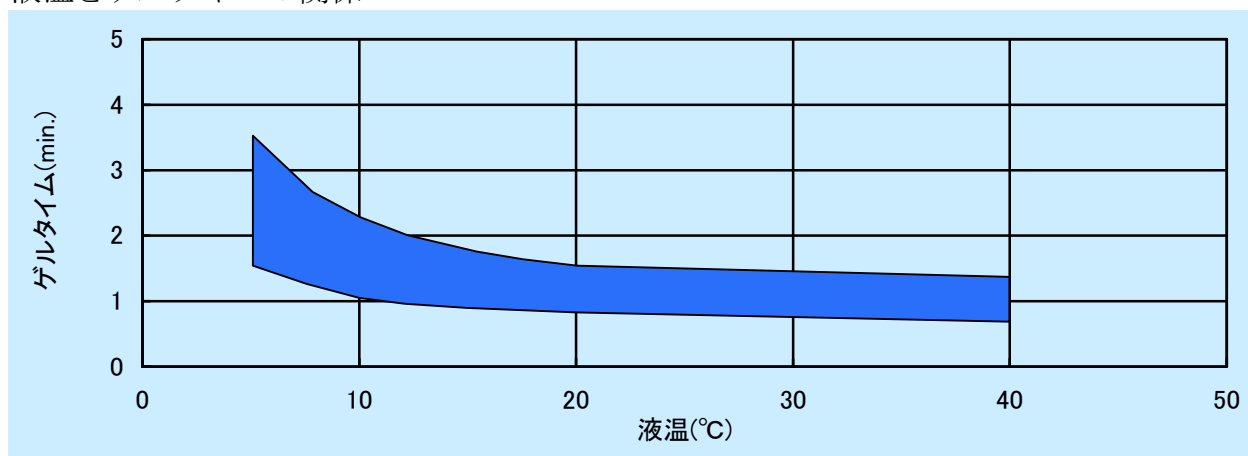
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

## 配合

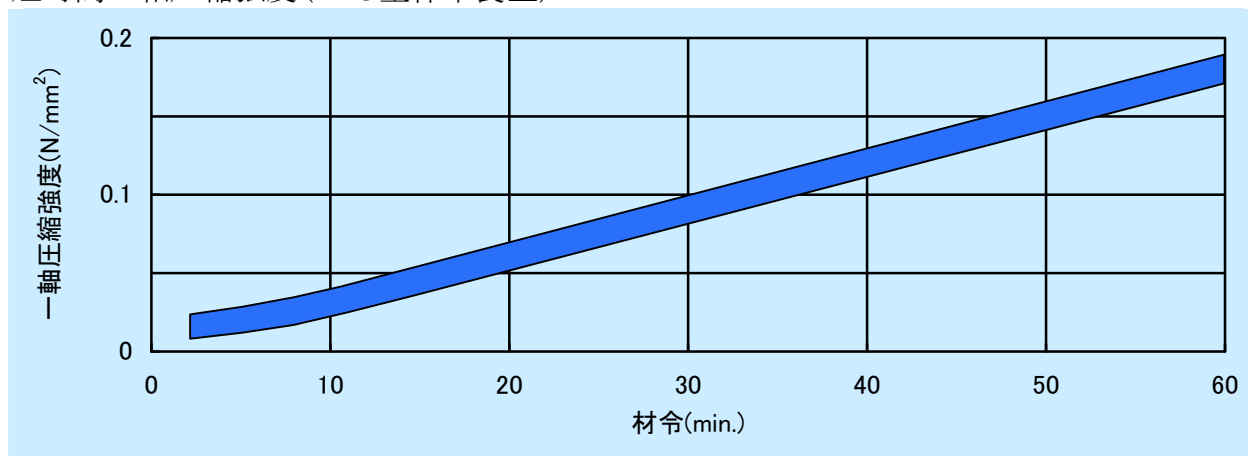
A液 (200ℓ)			B液 (200ℓ)		
高炉B	25 kg × 5袋	125 kg	硬化剤	16 kg × 1袋	16 kg
促進剤	12 kg × 1袋	12 kg	調整剤		1.0 kg
水		153.8ℓ	水		194.5ℓ

B液水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

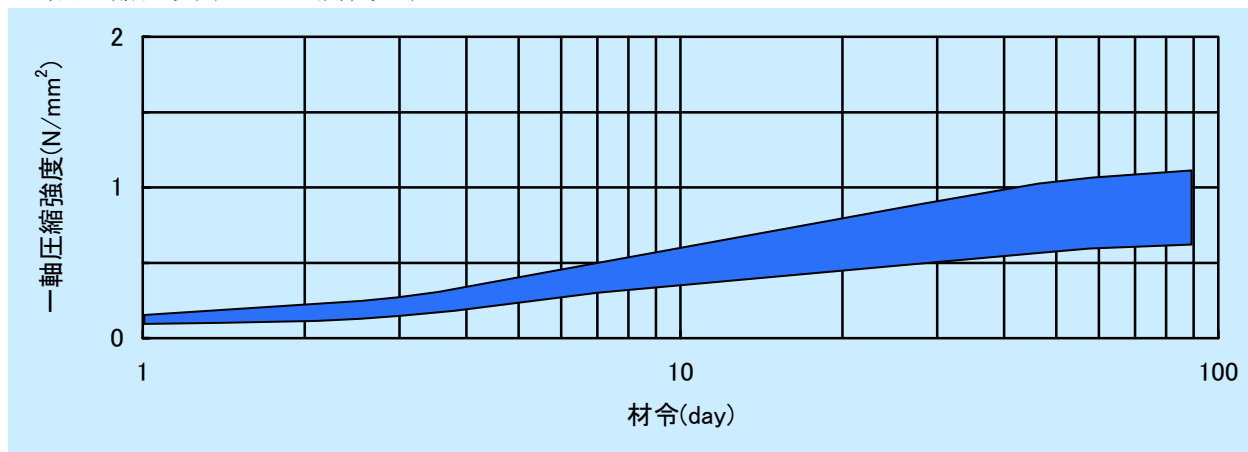
## 液温とゲルタイムの関係



## 短時間一軸圧縮強度 (20°C型枠中養生)



## 一軸圧縮強度 (20°C湿潤養生)



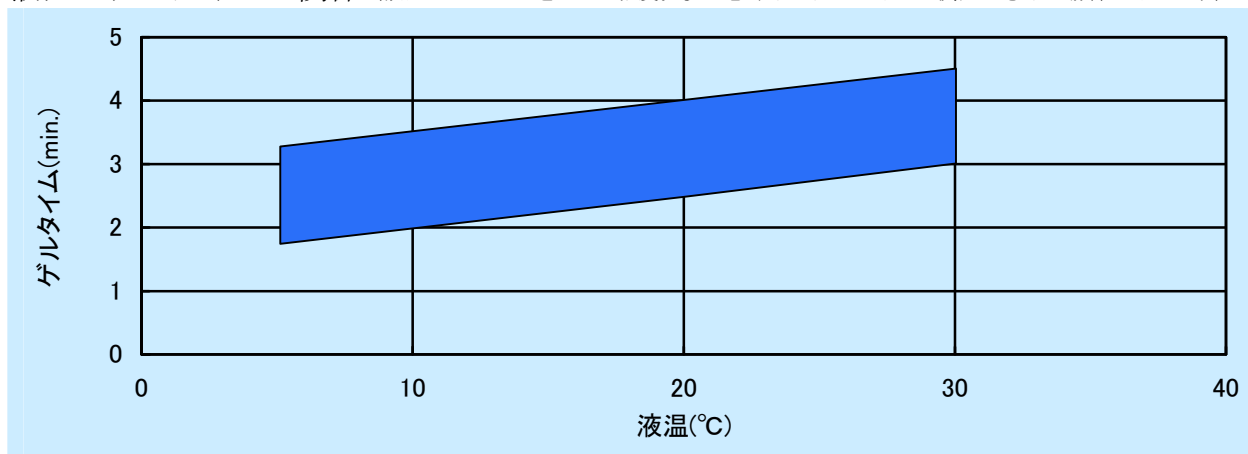
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

## 配合

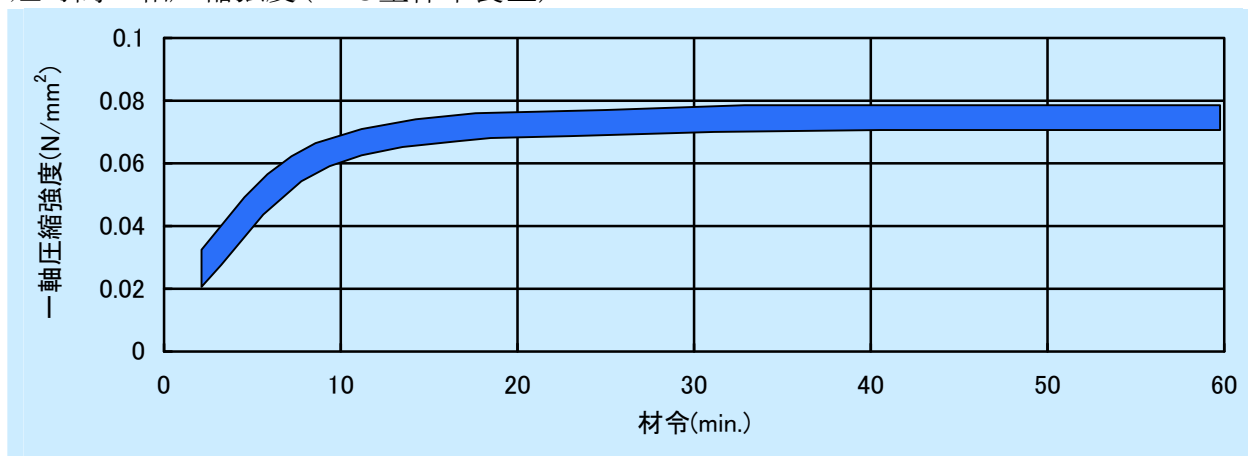
A液 (200ℓ)			B液 (200ℓ)		
高炉B	25kg×5袋	125kg	硬化剤	16kg×2袋	32kg
促進剤	12kg×1袋	12kg	調整剤		1.5kg
水		153.8ℓ	水		189.7ℓ

B液水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

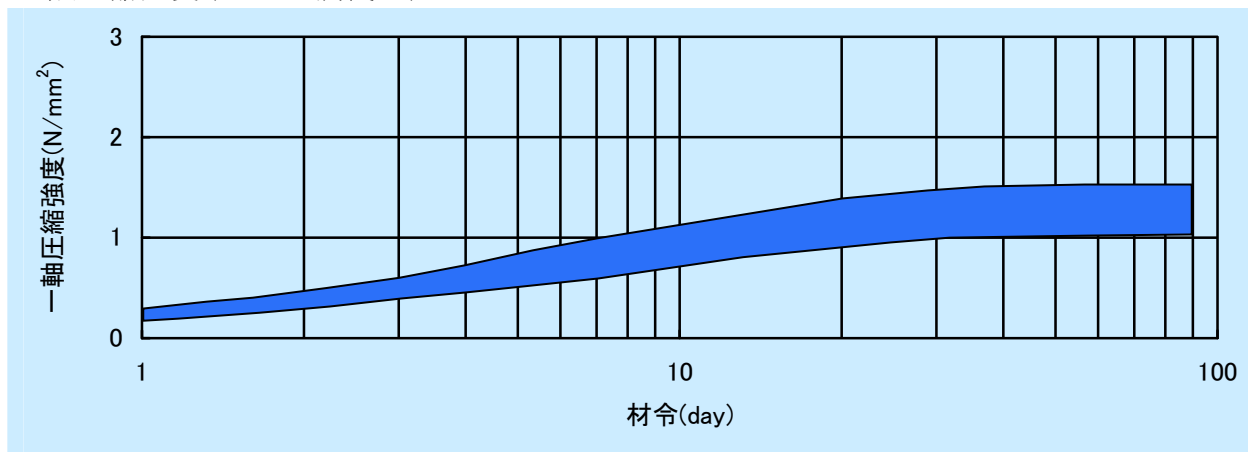
## 液温とゲルタイムの関係 (液温が30℃を超えると強度発現が悪くなりゲルタイムが測定できない場合があります)



## 短時間一軸圧縮強度 (20℃型枠中養生)



## 一軸圧縮強度 (20℃湿潤養生)



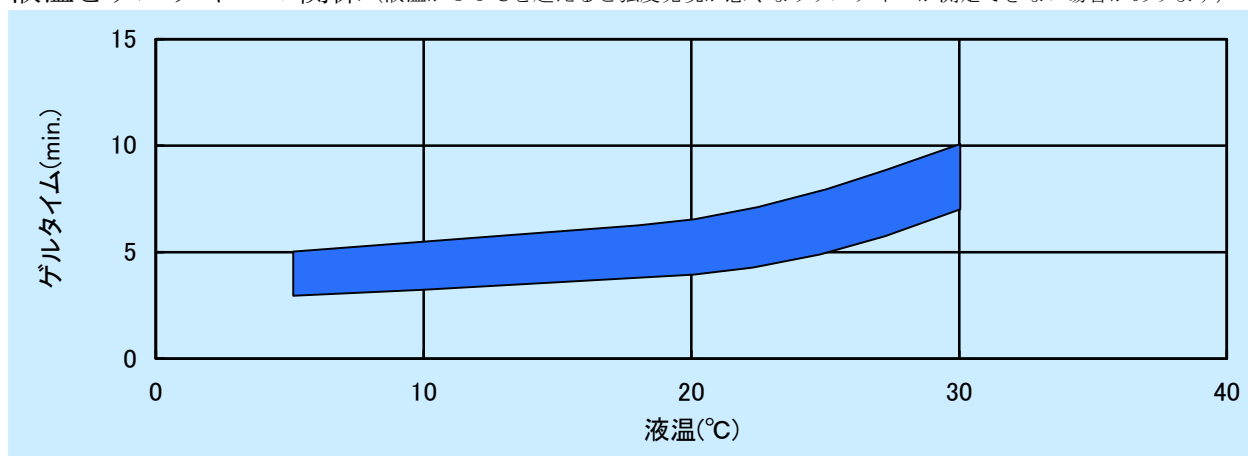
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

### 配合

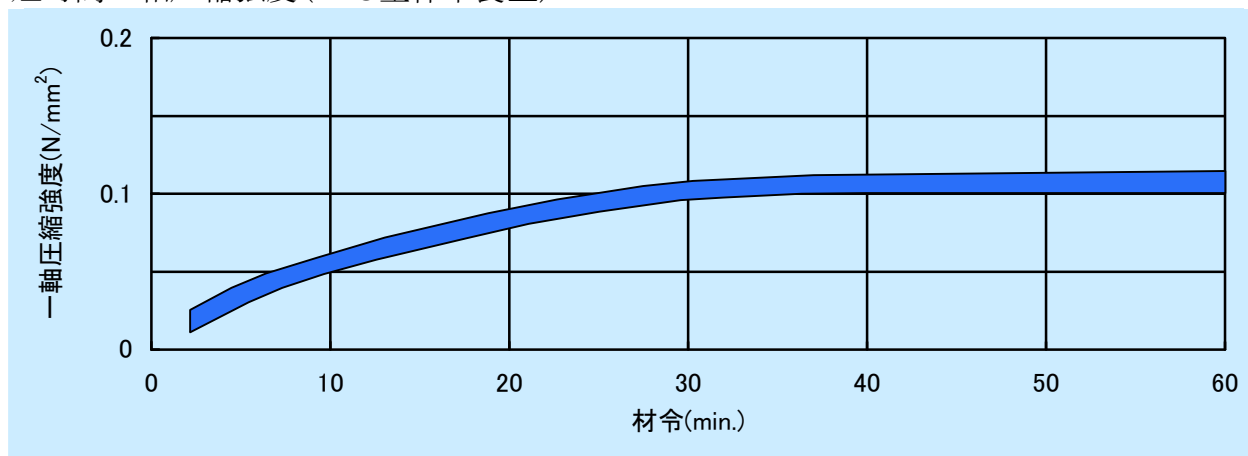
A液 (200ℓ)			B液 (200ℓ)		
高炉B	25 kg × 5袋	125 kg	硬化剤	16 kg × 2袋	32 kg
促進剤	12 kg × 1袋	12 kg	調整剤		3.0 kg
水		153.8ℓ	水		188.2ℓ

B液水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

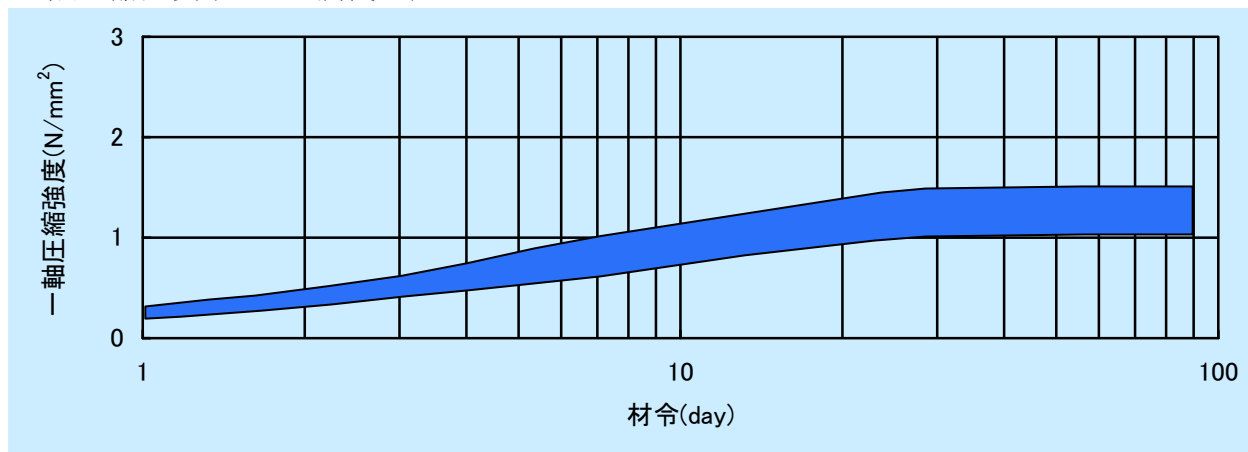
### 液温とゲルタイムの関係 (液温が30℃を超えると強度発現が悪くなりゲルタイムが測定できない場合があります)



### 短時間一軸圧縮強度 (20℃型枠中養生)



### 一軸圧縮強度 (20℃湿潤養生)



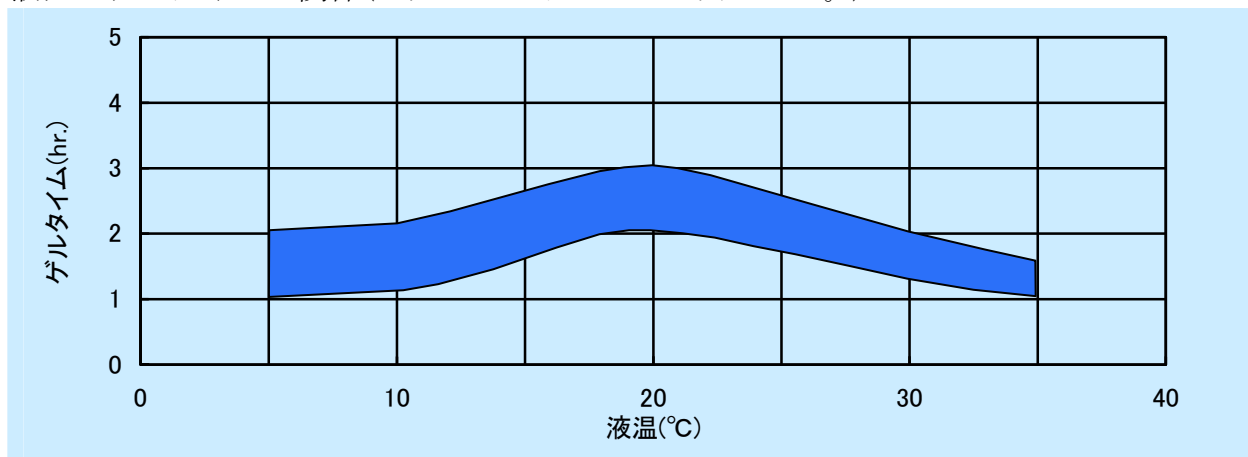
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。

### 配合

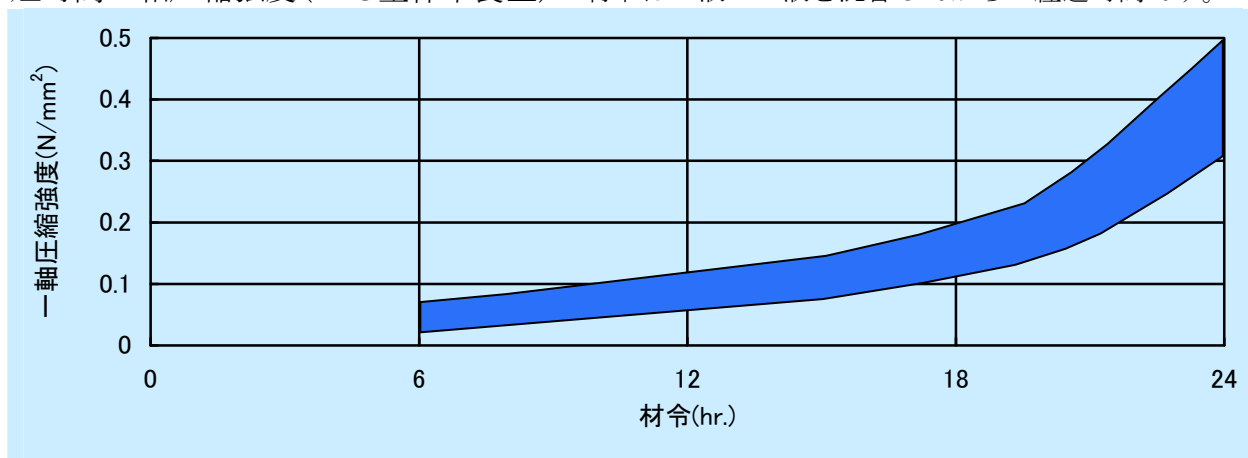
A液 (2000)		B液 (2000)			
高炉B	25kg×8袋	200kg	硬化剤	16kg×2袋	32kg
助剤	5kg×1袋	5kg			
水	132.20	水		191.10	

B液水量は実測値です。真比重から水量を求める事はできません。

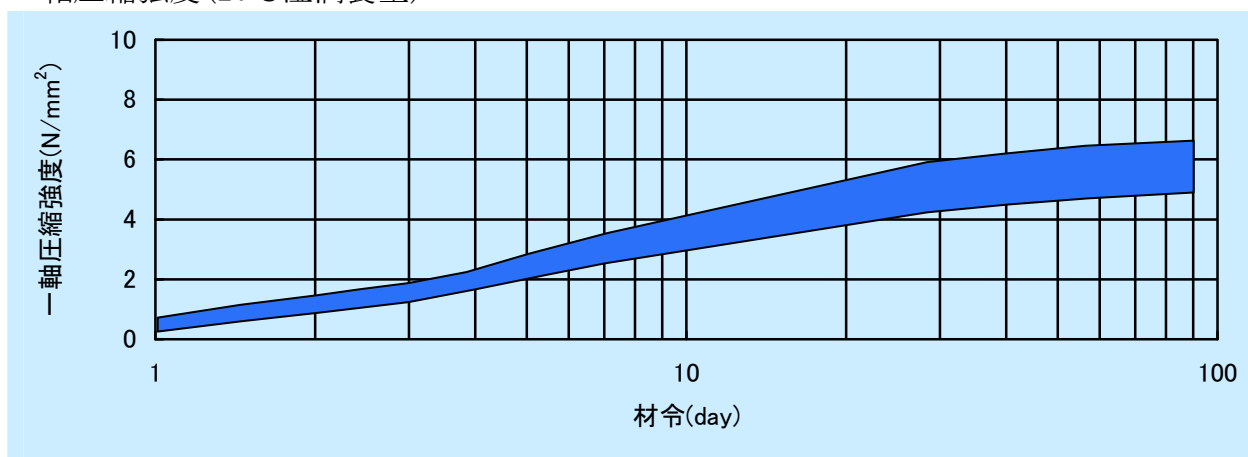
液温とゲルタイムの関係(ブリージングはほとんどありません。)



短時間一軸圧縮強度 (20°C型枠中養生) 材令はA液・B液を混合してからの経過時間です。



一軸圧縮強度 (20°C湿潤養生)



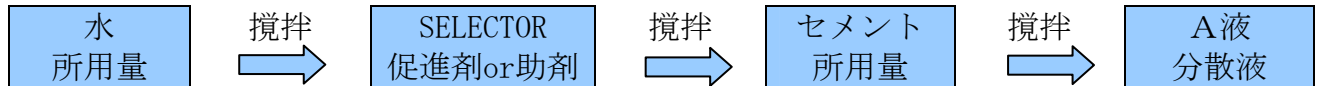
本カタログの記載データは実験室内での結果です。参考値として下さい。



## 調合方法

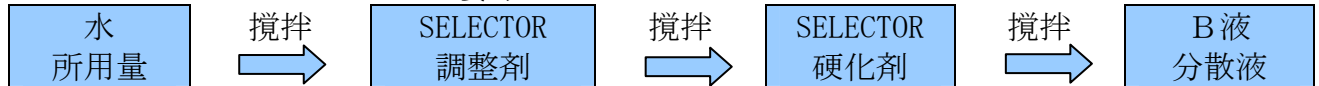
**注意：海水練りはできません**

A液：



- ① 所用量の水を張り、攪拌しながら促進剤或いは助剤を投入して充分に分散させます。
- ② 更に攪拌しながら所用量のセメントを投入して、均一に分散させA液を調合します。
- ③ A液は沈降しやすいので、調合後も攪拌機は停止しないで下さい。

B液：



- ① **B液は沈降しやすいので、縦型2連攪拌機をご使用下さい。**
- ② 所用量の水を張り、攪拌しながら調整剤を投入します。
- ③ 更に攪拌しながら硬化剤を徐々に投入し1～2分攪拌します。
- ④ 調合後も攪拌機は停止しないで下さい。

## 溶解上の注意

- ① 硬化剤の投入 : 一度に投入すると大きな塊となり一部成分が溶解しにくくなる場合があります。
- ② 水 量 : 水はやや少な目に張り、最後に200ℓにして下さい。
- ③ 水 温 : 硬化剤の分散は5℃以上の水を使用して下さい。また、水温が35℃を越えるような場合は、正常なゲルタイムが得られない場合があります。
- ④ 凍 結 : 冬期、長時間低温の外気に曝され0℃付近にB液が低下すると、溶解槽或いは貯蔵槽内で凍結する場合がありますが、その場合には加熱溶解して下さい。性能には変化ありません。

## 注入上の注意

- ① ストレーナー : 注入液に異物の混入を避けるため、溶解槽或いは貯蔵槽の出口にはなるべくストレーナーを装着して下さい。
- ② 練り置き時間 : 調合後はなるべく1時間以内に使用して下さい。
- ③ 凍 結 防 止 : 冬期2重管内でB液が凍結することがあります。2重管が冷えている場合は温水を通して暖めて下さい。また、地表上の露出部を保温剤で覆うなど、凍結防止に注意を払って下さい。内管にB液を通した方が凍結防止には有効です。

## 取り扱い上の注意

- ① SELECTORは硬化剤、促進剤及び助剤はアルカリ性ですので、耐アルカリ性手袋、保護メガネ、保護マスク、液が滲み込まない保護着衣、ゴム長靴等を着用し、衣服や身体に触れないようにして下さい。特に目等の粘膜面への付着、袖口、首筋、靴の中には十分注意して下さい。取り扱い後は、手洗い、うがい、洗顔を十分行って下さい。  
〈応急処置〉
  - ・目に入った場合は、多量の水で15分以上洗浄しできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
  - ・誤って飲み込んだ場合は、口の中をよく洗浄しコップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて下さい。その際無理に吐かせないで下さい。その後直ちに医師の診察を受けて下さい。
  - ・皮膚に付着した場合は、直ぐに多量の水で、ぬめりが完全に取れるまで洗浄して下さい。異常を感じた場合は直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ② SELECTORの保管、貯蔵に当たっては、高温多湿とにならない場所に保管して下さい。また、水濡れしないように保管して下さい。

## 瞬結配合

型番	高炉B使用量 (袋)	硬化剤使用量 (袋)	促進剤使用量 (袋)	ゲルタイム (呼称)
5 S	5	1	3	5秒
10 S			2	10秒

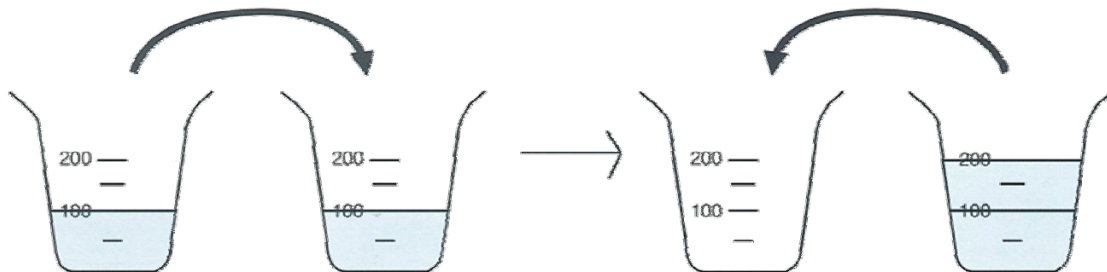
## 中結配合

型番	高炉B使用量 (袋)	硬化剤使用量 (袋)	促進剤使用量 (袋)	調整剤 (kg)	ゲルタイム (呼称)
1 M	5	1	1	1.0	1分
3 M		2		1.5	3分
5 M				3.0	5分

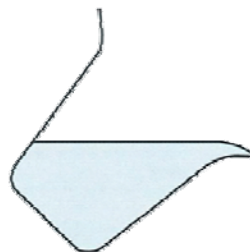
## 長結配合

型番	高炉B使用量 (袋)	硬化剤使用量 (袋)	助剤使用量 (袋)	ゲルタイム (呼称)
60 M	8	2	1	60分

- ①ビーカーにA液、B液それぞれ 100cc を採ります。同量なら 100cc でなくてもかまいません。  
採取したA液、B液を手早く混合し静置します。



- ②ビーカーを傾けて流出しなくなった時点をゲルタイムとします。



## ゲルタイム測定上の注意

SELECTOR、サンコーハードEHの様な珪酸ナトリウムを用いない非水ガラス系セメントミルクグラウト剤では、珪酸ナトリウム系グラウト剤のようなはっきりしたゲル化点は示しません。従って混合液を攪拌し続けたり、倒立法によるゲルタイム測定時に必要以上に混合すると、ゲル化し始めた緩いセメントのゲル構造が壊れていわゆる練り殺し状態になり、正常なゲルタイムを示さなくなります。またセメントの銘柄、品質によりゲルタイムはカタログ値と異なる場合があります。

# 検査報告書

第 18K040602 - 1 / 2号

平成 30年 10月 18日

三興コロイド化学株式会社

殿

株式会社 **環境公害センター**

〒463-0808  
名古屋市守山区花咲台3丁目201番地  
TEL (052) 739-1350(代)



試料の種類	溶出試験(環告13号)	持込 (10月 4日 受入)					
採取場所	SELECTOR						
採取日時		天候	採取者	三興コロイド化学株式会社			
(注) 収集および持込試料の場合は依頼者のお申し出により記入しました。				気温	℃	水温	℃

上記試料に対する分析結果をつぎのとおり報告します。

検査の対象	検査の結果	検査の方法は別紙一覧表の番号	特記事項
カドミウム又はその化合物(mg/L)	検出されない	1630 - 1602	
シアン化合物(mg/L)	検出されない	1870 - 1804	
鉛又はその化合物(mg/L)	検出されない	1930 - 1902	
六価クロム化合物(mg/L)	検出されない	2070 - 2003	
砒素又はその化合物(mg/L)	検出されない	2231 - 2201	
水銀又はその化合物(mg/L)	検出されない	2330 - 2310	
アルキル水銀化合物(mg/L)	検出されない	2470 - 2410	
ポリ塩化ビフェニル(PCB)(mg/L)	検出されない	2500 - 2510	
有機燐化合物(mg/L)	検出されない	5670 - 5610	
テトラクロロエチレン(mg/L)	検出されない	9120 - 9001	
トリクロロエチレン(mg/L)	検出されない	9130 - 9001	
--- 以下 余 白 ---			



# ケミカルクリエイター

## 薬液注入剤

### 水ガラス系溶液型 無機

サンコーポール SW80 シリーズ  
サンコーポール SW3A シリーズ  
サンコーポール SV シリーズ  
サンコーポール AS-3  
グラード5

### 水ガラス系溶液型 有機

サンコーポール OSB シリーズ

### 水ガラス系懸濁型

サンコーポール SAM-2  
サンコーポール 10-L  
サンコーポール L シリーズ  
サンコーポール ソリッド

### 非水ガラス系懸濁型

サンコーハード AQ シリーズ  
SELECTOR

## セメント・コンクリート関連商品

### アンカーグラウト材用混和剤

GEL WHITE

### セメント凝結促進剤

サンコーハード EH

### 水中不分離性セメント凝結促進剤

AQUA-MATE

### セメント凝結遅延剤

サンコーノンゲル No. 200

### 起泡剤

AIR PLUS PM  
サンコーネオゾール

### 消泡剤

サンコーポール AM

### 分散剤

サンコー減水剤

## その他

### 粘性土用分散剤

スルーリーⅡ

## 【品質管理について】

当社は1998年に ISO9001 (国際品質保証規格) を、薬液注入剤及びコンクリート混和剤の分野に於いて国内で初めて認証取得したことにより、多数のお客様から高い評価をいただいております。

当社では、この認証された品質マネジメントシステムに則り、お客様から信頼される製品を提供させて頂いております。

## お願い

◎製品カタログをよく読んでからご使用下さい。

◎三興コロイド化学(株)は常に開発、改良に取り組んでおります。

商品について御意見、御希望が御座いましたら弊社営業部まで御連絡下さい。

SANKO COLLOID CHEMICAL Co.,Ltd.

URL <http://www.sankocc.com>

TEL : 0568-21-0012 FAX : 0568-23-3553

2020.04